



新年のご挨拶

直前理事長
大 滝 哲 也



新年のご挨拶

2006年度理事長
渡 辺 明

新年あけましておめでとうございます。

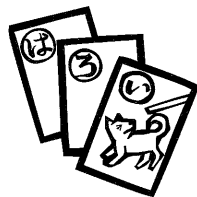
昨年中は(社)いわふね青年会議所の活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。昨年は「WE CAN CHANGE この地域のために 未来(あす)のJCのために」のスローガンの下、青年会議所活動に邁進することができました。これもひとえに地域の皆様、行政の方々、先輩諸兄、私達と同じ志を持つ諸団体の方々、また労と喜びを共有したメンバーのおかげであると感謝申し上げます。

昨年は「より魅力ある地域づくり、JCづくり」をキーワードに事業展開をさせていただきました。より魅力ある地域であるために、8月に「新世代まちづくりフォーラム」を開催させていただきました。この事業は私達青年会議所メンバーと同世代である村上商工会議所青年部、また郡内5つの商工会青年部の皆様と、この地域の良い点、問題点について現状を確認し、それを元にこの地域の将来ビジョン、あるべき姿について語り合い、共に議論し、それを当方で取りまとめ、8月のフォーラムにて発表させていただきました。この事業で同じ志を持つ団体同士のコラボレーション(協働)が実現し、これからのまちづくりの課題、テーマが見出せたことはとても有意義であったと思います。

また魅力ある地域であるために、青少年健全育成事業として、アルビレックス新潟 取締役・育成部長の若杉 透氏をお招きして「親が子どもに出来ること」と題し公開例会を開催しました。多くのご来場をいただき盛大に開催することができました。若杉氏にサッカーを通しての子供への関わり方を具体的にお話いただき、将来この地域を担う子供達の健全育成について一緒に考える素晴らしい場となりましたことに感謝申し上げます。

さらに、魅力あるJCであるために、メンバーのスキルアップ研修、また数々の交流事業に邁進しました。「WE CAN CHANGE」私たちは変わることができる。私たちが変われば地域が変わる。地域が変われば子供達に素晴らしい将来が待っている。そう信じ、これからもメンバー一同、活動に邁進していく所存です。

本年度は渡辺理事長をはじめとする「2006年度(社)いわふね青年会議所」に更なるご理解とご協力をお願いしまして、挨拶とさせていただきます。



新年あけましておめでとうございます。

2006年度理事長を拝命した渡辺明でございます。微力ではありますが、今年1年間地域のために活動してまいります。

さて、混沌と呼ばれる時代、わが国では少子高齢化が進み、人口が年々減少していくという過去に経験したことのない時代に突入した今、地方においてはさらに深刻な問題となっており、いわふね地域においても例外ではありません。しかし、こういう時代だからこそ我々JAYCEEは何をすべきなのか真剣に考えるときではないでしょうか。

近年新潟県では、水害、地震、大雪と多くの自然災害にみまわれました。いわふねJCのメンバーもボランティアとして活動しましたが、被災地の惨々たる状況の中でも復興を目指す地域の人々の強さ、生きる力というものを感じずにはいられませんでした。さて、私たちの住むいわふね地域はどうでしょうか。北に名勝笹川流れ、西に海産物の豊富な日本海と粟島、南に水田地帯と一級河川の清流で5番以内に数えられる荒川、東に広大なブナ林と数百種類にも及ぶ動植物が生息し国立公園にも指定されている朝日連峰、中央には城下町村上と鮭で有名な三面川があり、自然災害も少なく、豊かな自然と歴史文化に恵まれたすばらしい地域であると確信しております。しかし恵まれているがゆえに豊かさに馴れてしまい、この地域に育まれてきたことに対する感謝の気持ちを忘れてきているような気がしてなりません。私たちはもっと郷土を愛し、郷土への誇りと感謝の気持ちを育み、良いものは認め合い力を合わせ、新しい時代に向かって邁進しようではありませんか。

本年度(社)いわふね青年会議所では、子どもたちを対象に歴史スポットを散策し、地域のすばらしさを認識してもらうと同時に、地域を誇りに思える子どもを一人でも多く育みたいと考えております。その他地域に関する諸問題についても積極的に取り組んで参ります。ロム内においては研修を充実し、情熱あるひとづくりをモットーにさまざまな研修プログラムを取り入れ、全国的に問題になっている会員減少についてもわがJCにおいては情熱をもって会員拡大に力を注いでいきます。

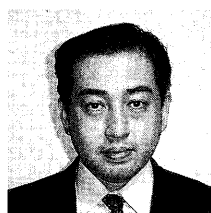
私たち(社)いわふね青年会議所は、来年度村上青年会議所として創立以来40周年という節目を迎えることとなります。諸先輩方が培ってきた実績と伝統を継承しながら、新しい流れのなかでモラトリアムからの脱却をし、行動して参ります。1年間よろしく申し上げます。

誇りあるまちづくりを

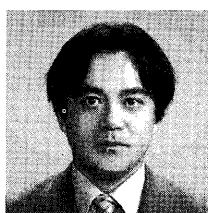
「歴史発見事業の開催」

私たちは、豊かな自然や歴史文化に恵まれたいわふね地域に育まれてきました。しかし、この地域のすばらしさについてまだまだ知らないことがたくさんあります。本年度(社)いわふね青年会議所では、鎌倉時代から伝わる古城跡を探索します。先人はなぜこんなに古い時代からこの地域に住んでいたのでしょうか。自然災害が少なく天然資源に恵まれていたからではないのでしょうか。もっともっとこの地域のすばらしさを追求し後世に伝えていきたい、子供たちが誇りに思えるようなまちづくりをしたい、そういう思いから今回の企画を致しました。地域の皆様にはご協力の程よろしくお願い致します。

メンバー紹介



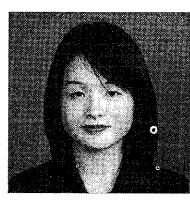
理事長
渡辺 明
(株)わら竹



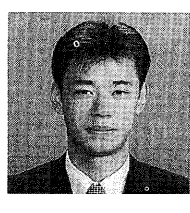
直前理事長
大滝 哲也
大滝自動車工業(株)



専務理事
畑田 利巳
鮎友



副理事長
竹内 歩
(有)千渡里



副理事長
貝沼 米司
貝沼総合保険

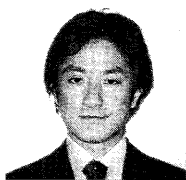


監事
安藤 成
(株)ホーテール・ひまわり



監事
田村 崇行
(株)シーオーエル

事務局



事務局長 平岡 保智
(株)扇屋旅館

厳しい経済環境、この変革の時にあえてJC運動に関わるメンバーがいます。事務局長として、06年度の運動を支える揺るぎない土台を築き上げます。筋肉質な組織は、各メンバーがそれぞれの役割を認識し、ルールを厳守してこそ、その力を集約する事が出来ると思います。迅速に物事が決定され、即活動につながるために、1年間厳しい姿勢で取り組みます。本年度事務局では、会の運営をよりスムーズに、かつ密度の濃い議論が展開され、魅力あるいわふね青年会議所をつくるために、会の規定や運営システムを見つめ直していきます。そして、LOMの中にある情報や入ってくる情報を効率よく特別会員の皆様や現役会員に伝え、有効に活用していただくための会報とホームページのあり方について更に考えていきます。毎年考えられてきていることですが、今一度、組織運営や会議運営、情報収集、活用をテーマにJCの運営システムが、JCに入会して学べる貴重な財産の1つになるよう考えていきたいと思っております。



事務局次長 斎藤 直久
村上信用金庫



事務局次長 斎藤 彰
(株)ホテル汐美荘



野尻 誠
山新林業(株)

40周年企画準備室



室長 高橋 透
メガネの愛眼堂 村上店

1967年、この地に青年会議所が誕生してから、当(社)いわふね青年会議所は来年で創立40周年を迎えます。戦後の高度経済成長期と共に始まり今日に至るまで、様々な事業や活動の中で培われてきた指導力や組織力、また、この地域の「まち」を住民と共に創り、育んできた歴史と伝統、そして精神は脈々と受け継がれて参りました。本年度、40周年企画準備室では、40年の栄光ある歴史を持つJCとしての誇りにかけて、以下の事を常に確認しながら事業を行わなければならないと考えています。「この事業は地域社会にとって役に立つのか、地域社会が求めている事なのか、それはJCらしいのか、JCの原点である修練・奉仕・友情の3信条を満たしているのか」次の大きな歴史の節目である40周年記念式典に向けて魅力あるまちづくり・魅力あるひとづくりに全力で取り組んで行きたいと考えています。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



加藤 善典
(株)加藤組

人間力創造委員会



委員長 時田 康弘
時田陶器(株)

私たちは今、混迷を極め、先行きの見えない「不安の時代」を生きています。文明の発達と共に豊かになりすぎた時代に生きる我々青年は、人間関係の築き方を再度学び直すべきではないでしょうか。そこで2006年度人間力創造委員会では、メンバー一人ひとりがJAYCEEである事の意義を再確認し、目的意識を常に持ち続け活動していかなければなりません。そこに充実感を見だし、次の活力へとつなげて行こうと考えます。世の中も今、強いリーダーシップを望んでいます。リーダーシップが発揮できるこの青年会議所で、リーダーの気概がにじみ出るような研修を開催いたします。また、2006年はより大きな価値と意義のある仲間づくりを目指し、会員拡大活動と新入会員オリエンテーションを展開していく所存でございます。1年間精一杯頑張りますので、メンバー皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。



副委員長 鈴木 洋司
鈴木建具製作所



副委員長 佐藤 学
(株)フォト・スタンプ新潟



渋谷 隆
(株)渋谷工務店



小野 力
(株)村上塗装工業

まちづくり委員会

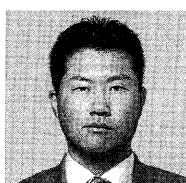


委員長 太田 勝行
太田製材所

私は、なぜ青年会議所に入会したのか？最初の動機はたいした理由もありませんでした。しかし、各種活動に参加していくにしたがい、青年会議所が自分自身を成長させてくれる修練の場であり、地域への奉仕活動の場であることに気づき始めました。そして、さらにもう一歩前進するため、まちづくり委員会の委員長になることを決めました。まちづくりとは「まちを知ること」が大事だと聞いたことがあります。案外、自分の住んでいる地域のことについて知らないこともたくさんあります。そこで本年度は、いわふね地域のなかであまり知られていなかった歴史スポットを散策し、地域の良さを再認識できるような事業を企画しております。また、ひきつづき各青年会議所、地域の方々や諸団体と、より良い関係を築いていきたいと考えております。今年1年、何事も前向きに頑張っていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



副委員長 高橋 聡
北越運送(株)



副委員長 横井 賢
(株)新和開発



土谷 孔秀
静雲荘



五十嵐 龍
(株)宮作



阿部 義秋
インテリアREV



佐藤 一治
フラワースタジオGIFT



永田 強
(株)永徳酒販



今井 伸一
(株)大進建設

JC会員募集中

あなたもJCに入会して一緒に楽しみましょう!!
人が最も影響を受けるのは、新しい人との出会いだと思います。青年会議所は、そのチャンスをたくさん与えてくれる場です。
●青年会議所とは?
青年会議所とはその名の通り、委員会など会議を行い、それぞれの事業を行っていきま。その中から、様々な人の意見や考え方に触れることができ、そういった人とのふ

れあいの中から、自己の成長につなげていける事のできる大変有意義な会です。また理事長以下、すべての役員の任期は1年です。組織の中で様々な役職を経験することにより、自己研鑽を積み、その結果が個々の活動や自分の仕事に戻った時に役に立ちます。
●事務局/村上商工会議所内事務局 岡田 TEL0254-53-4257
●担当委員会/人間力創造委員会 時田 TEL.090-9015-8734